

品質異常改善通知書

下記の製品は得意先検査の結果、不合格となりました。
再発防止の為対策を記入の上、指定回答日までに原本を回付して下さい。

指定回答日：2012年2月27日

生産担当：2012年2月20日迄

検査担当：2012年2月27日迄

業務担当：年 月 日迄

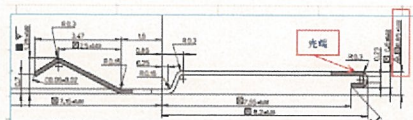
不具合整理No.	43F-2-008	
生産	2 課 1 G	
生産担当	小山	
発行日	2012年2月13日	
承認	確認	担当
駒津 12.2.13 博久	黒岩 12.2.13 映次	駒津 12.2.13 博久

品質保証課記入

図番 503538-0008
品名 HI-FIX PE 512PIN PLUG GROUND PLATE
ロットNo 20120BW1G001
対象数量 80,000個
クレーム内容及び確認内容

検査項目N: 0.85±0.05が0.758~0.775でマイナス公差外

写真・図



先端高度規格値: 0.65±0.05
実測値: 先端: 0.758~0.775

発生原因

(生産課)・めっき課・技術課・()
(現場現物現実の確認・加工状況・加工履歴・変化点の確認)

NG品の発生

(なぜ発生したのかを3回繰り返して真の発生原因を掴む)

測定の56点 OKという判断をした。

測定基準、11ピンが不足していた。

教育が不足していた。

不具合発生日: 12年1月20日

P番号: P5550 - 00

起因部署記入

流出原因

(生産課)・めっき課・技術課・()
(現場現物現実の確認・履歴・変化点の確認)

NG品の流出

(なぜ発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む)

全測に20点以下と判断を急いだ。

バラツキがある事を認識してはなかった。

教育が不足していた。

品質技術課・業務グループ

(現場現物現実の確認・履歴・変化点の確認)

NG品の流出

(なぜ発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む)

全測にてOKと判断を急いだ。

バラツキがある事を認識してはなかった。

発生対策

(誰が、いつまでに何を、どうする)

なで2、今回事例を参考に、検査指導書の
見直し実施

なで2.3、駒津に、遊田、小山にて11ピン
を行ない教育をした。また、

(金型的には外調整構造で、宝積的には
内部検査と考える)

対策実施日: 2012年2月20日	承認	確認	担当
対策実施時: 2012年2月20日	高木 12.2.21 輝幸	小林 12.2.21 弘往	小山
(有の場合、対象製品名又は図番を記入)			

流出対策

(誰が、いつまでに何を、どうする)

指導書の公差(ネイ係)を±0.05から±0.03へ
修正した。B/C不具合対策会議にて
11ピンを理解させた。

対策実施日: 2012年2月20日	承認	確認	担当
対策実施時: 2012年2月20日	高木 12.2.21 輝幸	小林 12.2.21 弘往	小山
(有の場合、対象製品名又は図番を記入)			

(誰が、いつまでに何を、どうする)

製造許可時、生産課のデータで公差ギリギリ、
た時は、許可を出さない。

対策実施日: 2012年2月23日	承認	確認	担当
対策実施時: 2012年2月23日	山岸 12.2.28 徳行	小林 12.2.28 景子	遊田 12.2.28 里菜
(有の場合、対象製品名又は図番を記入)			

原因区分 ☒ 作業 ☐ 金型 ☐ 材料 ☐ 検査工程 ☐ 設備 ☐ 梱包・輸送 ☐ 管理・仕様 ☐ 顧客 ☐ その他

効果の確認

承認

確認

有効性の評価

承認

確認

担当

生産スタート時、85点0.3で
公差中央下のスタートを実施し
いました。

承認 駒津 12.4.24 博久	確認 駒津 12.4.24 博久
---------------------------	---------------------------

対策後、12.02.23、1.11.001~0002.910点を生産し、
内、同不具合が並い為有効性ありと判断致した。
予防処置 要、不要

承認 12.9.15 映次	確認 駒津 12.9.14 博久	担当 駒津 12.9.14 博久
---------------------	---------------------------	---------------------------

(株) 鈴木

Rev : D

CQM-22020-1